

◆ 檣（しきみ、しきび）の剪定

① 檣とは？

中国や本州の関東から西、四国、九州、沖縄など比較的暖かい地域の山地に見られる広葉常緑樹。樹高が 5m 程になる小高木である。

3 月～4 月にかけて 3cm 径程のクリーム色の花を多数咲かせる。

葉は深い緑色で革質、光沢がある。

毒を持つ有毒植物で、特に果実の毒性が強い。

<用途>

樹皮や葉は乾燥させて粉にし、抹香として用いられる。その他、枝葉は仏壇に添えたり、葉を末期の水をとるのに用いたり、仏事との関わりが深い。また、庭木以外にお寺に植えられていることも多くある。

<由来>

名前の由来には、毒性が強いことから「悪しき実」が転じて「シキミ」とされたという説や、季節に関係なく芽を出すことから「四季芽」が「シキミ」になったとか、実の形がやや平べったいことから「敷き実」に由来するなどの諸説がある。

葉



花



実



檣カレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花												
剪定												
植付												

②剪定

檜 (シキミ)の剪定の時期は、6月下旬から7月や11月から12月頃になる。

基本的には、放任していても樹形はそれほど乱れないので、特別に形を整えるための剪定をする必要はない。込み合った部分を間引きし、風通し良く日差しが入るようにする「透かし剪定」とし、全体の形を整える程度で良い。

また、芽吹く力や枝葉を伸ばす力が強く、太い枝を切ってもよく芽を出すので、思い切って刈り込むことも可能。

<育て方>

ポイントは、半日陰でも花を咲かすことができるので、狭い場所でも可。

西日を避けた明るい日陰で良く育つ。

日射しが強い所では乾燥が激しくなるので、葉色が悪くなり生長もあまり良くない。

植え付け時期は、充分暖かくなった4月中旬から5月上旬やまだ暑い9～10月頃が適す。

適地は半日陰で腐植質に富み、水はけが良く粘質土の場所が理想的。

肥料は普通の土質であれば特に必要はない。

<参考：増やす方法>

【挿し木をする】

①適期は6月下旬～7月で、若い枝が固くなった頃。

②本年春に伸びた若い枝の枝先15cm程を断面斜めで切り落とす。

③用土を特に選ばずとも、川砂、赤玉土、鹿沼土などとし、土に挿す。

※1年目はあまり生長しないが、2年目以降は勢いよく生長をはじめる。

【種を撒く】

秋に熟した果実から種を取り出し、そのまま秋に撒くか、翌春に撒く。